

21世紀減災社会シンポジウム

関東大震災から100年

～教訓を継承し、迫り来る大災害に活かす～

日時 令和5年(2023) **1月20日(金)** 13:30～17:00

場所 **オンライン開催(YouTubeライブ配信)**

※朝日新聞東京本社新館スタジオ(東京都中央区築地5-3-2)より配信

参加方法 **無料、事前申込**

※申込いただいた方に視聴用URLを送ります(1月30日(月)まで視聴可能)



現在の銀座

阪神・淡路大震災から生まれた災害対処のシンクタンク「ひょうご震災記念21世紀研究機構」と戦前戦後を通じて防災報道を重視してきた「朝日新聞社」は、関係機関と連携しながら、「防災・減災」をテーマとしたシンポジウムを共同で開催してきました。

今回は、1923年9月に発生した関東大震災から100年となる節目を機に、これまでの様々な災害による教訓をふり返ると共に、迫り来る首都直下地震や南海トラフ地震などの巨大災害に備え、持続可能な減災社会を構築するための方策等について考えます。

当シンポジウムはオンライン開催とし、YouTubeでライブ配信します。ぜひご視聴ください。

プログラム

主催者あいさつ 13:30～13:35

基調講演 13:35～14:35 **「関東大震災100年に、首都直下地震への対応を考える」(仮題)**



ひら た なおし
平田 直 (東京大学名誉教授・東京大学地震研究所特任研究員)
専門は地震学・地震防災。主な著書に「首都直下地震」(岩波新書)。東京都防災会議地震部会長として2022年の首都直下地震想定見直しに携わる。政府の地震調査委員会委員長、(一社)防災教育普及協会会長。

パネルディスカッション

14:45～16:25 **「持続可能な『減災社会』を目指して」**

総括

16:30～17:00 **「関東大震災から学ぶこと～朝日新聞社所蔵の写真記録とともに」**

パネルディスカッション 14:45~16:25

持続可能な『減災社会』を目指して

コーディネーター



みく りや たかし
御厨 貴

(ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長／東京大学名誉教授)
東日本大震災復興構想会議議長代理、くまもと復旧・復興有識者会議座長代理等を歴任

パネリスト

かぎ や はじめ
鍵屋 一

(跡見学園女子大学教授／元東京都板橋区職員)
専門：地域防災、福祉防災、マンション防災



くわ た やす こ
鋤田 泰子

(神戸大学大学院工学研究科准教授)
専門：地震工学、ライフライン対策。大阪府北部地震の際、自宅で被災

さとう ただ ゆき
佐藤 唯行

((一社)フェーズフリー協会代表理事)
日常と防災をつなげる取り組み
=フェーズフリーの概念を提唱



こじょう ひろ たか
古城 博隆

(朝日新聞東京本社社会部記者)
災害への備えを特集する「災害大国」紙面を担当

総括 16:30~17:00

「関東大震災から学ぶこと～ 朝日新聞社所蔵の写真記録と共に」



い お き べ まこと
五百旗頭 真

(ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長／兵庫県立大学理事長)
東日本大震災復興構想会議議長、くまもと復旧・復興有識者会議座長等を歴任

【写真のふりかえり】



こばやし まい こ
小林 舞子

(朝日新聞社東京社会部次長)
「災害大国・東日本大震災」担当デスク。2016年熊本地震を取材

■お申し込み方法(期限:1月19日(木)まで)

下記ホームページからお申し込みください。
※ご登録いただいた方に、後日視聴方法を事務局より連絡します。
視聴可能期間:当日ライブより1月30日(月)まで
※入力いただいた個人情報等は、事務局で適正に管理し、
ご案内に関してのみ使用いたします。

申込URL:<https://www.hemri21.jp/>

お問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
研究戦略センター
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
人と防災未来センター東館6F
TEL078-262-5713 FAX078-262-5122
E-mail:gakujutsu@dri.ne.jp

主催:朝日新聞社、ひょうご震災記念21世紀研究機構

後援:内閣府政策統括官(防災担当)、復興庁、総務省消防庁、東京都、兵庫県、関西広域連合